

三田市文化芸術ビジョン（素案）に対する市民意見の募集結果と意見に対する市の考え方について

No.	頁	項目	意見の内容	市の考え方
三田市文化芸術ビジョン(素案)を修正するもの				
1	3	総論-I 文化ビジョン策定にあたって	<p>「以上の事柄を踏まえ・・・」以下に文化芸術ビジョン策定の目的・理念が書かれていると思います。基本方針は、「実践者が主体、行政は下支え」ということだと思います。この基本方針には賛成ですが、肝心の下支えの内容が、以下の文章にある民間資金や大学の活用ということのように見て取れます。行政は、どのような理念をもって、何をどのように下支えしようとするのか、それこそが文化芸術ビジョンだと思いますが、もうひとつ書き加えられてはいかがでしょうか。めざすものが、～日常に文化があるまちづくり～であるなら、「する・みる・ささえる・つたえる」は、その展開であるはずですが、行政の重要な役割は、「ささえる」「つたえる」だと思いますが、具体的内容は、次ページ以降として、ここでは行政の役割とやる気をきちんと書かれたらいかがでしょうか？</p>	<p>次のとおり記述を修正します。</p> <p><u>「以上の事柄を踏まえ、次代を担う子どもたちの文化芸術活動への関わりや市民・実践(演)者が自発的に行う文化芸術活動などを民間事業者によるサポートや大学等の知見なども活用し、あらゆる人や組織がつながる文化芸術活動を行政が下支えすることで、『ともに「する・みる・ささえる・つたえる」』～日常に文化がある、まちづくり～を目指して、文化芸術ビジョンを策定しました。」</u></p>
2	7	(6) 市内在住アーティストの活動との協働	<p>新宮晋・・・大野巳喜男、の5人の名前だけがここに突然登場する理由がわかりません。説明を追加ください。</p>	<p>ご指摘のとおり、市内で活動されたアーティストは他にもおられます。ここではその中から5名の方を実例として</p>

				<p>紹介しております。</p> <p>次のとおり記述を修正します。</p> <p>「…大野巳喜男(画家・デザイナー、故人)等、市内では、これまで多くのアーティストが活動されてきました。」</p>
3	9	文化芸術ビジョンが目指すものの象徴図	<p>左下から右上への矢印の上に、「日常に文化があるまちづくり」の文字を入れていただきたい。</p>	<p>ご提案の文言を追記します。</p>
4	10	「する」-課題	<p>「ホール機能を有する他の施設を有効活用する仕組みの構築も必要となっています。」との課題認識に対して、第2部の各論で説明が見当たりません。</p>	<p>25 ページのⅢ文化活動支援のあり方-1-委員会での議論を受けて-(2) 目指す未来の姿、に次のとおり追記します。</p> <p>「市民センターなど、郷の音ホール以外のホール機能を有する施設が、日常的な文化芸術活動の場として活発に活用されています。」</p>
5	17	4 三田らしさをいかすために	<p>「国外にも目を向け」のところに(グローバル)を入れ、グローバルという言葉の説明されたらいかがですか？まだ一般化していない用語と思います。</p>	<p>次のとおり説明文を追記します。</p> <p>「*グローバル：地球規模を意味するグローバルと「地元・地域」を意味するローカルを組み合わせた造語。三田ならではの地域性や伝統を活かしながら、国際色のある事業の展開を目指します。」</p>
6	19	1(1) さんだの特色	<p>「サンタ×三田プロジェクト」と屋外モニュメント彫刻・・・を、同じ項目の中で扱うのはおかしい。三田の屋外彫刻は、三田の特色としてきちんと評価されるべきと思います。「なかには全国に通用する」という表現も極めて不適切でしょう。制作者に対して失礼であると思います。</p>	<p>「サンタ×三田プロジェクト」と「モニュメント、彫刻」の項目を分け、次のとおり記述を修正します。</p> <p>「市内外から評価されている屋外のモニュメントや、彫刻などの資源が多数あります。」</p> <p>「「サンタ×三田プロジェクト」のような市独自の取り組みも行われています。」</p>

7	19	1(1) さんだの特色	<p>学習プログラムの教材としても活用できる・・・の文章は、読み方によっては、「全ての収蔵されている歴史資料が、活用できる状態にあります。」とも読めます。三田市の文化財の管理・保管（「収蔵」とは何を意味しますか？）が、極めて脆弱であるという現状を正直にきちんと認識するならば、このような表現はあらためるべきだと思います。書くとしたら、「三田には、重要な歴史的価値のある資料や芸術的価値をもつ作品等が数多く存在します。」ではないでしょうか？</p>	<p>次のとおり記述を修正します。</p> <p><u>「市内には歴史的価値のある資料等が数多く存在し、学習プログラムの教材として活用できる資料も多数あります。」</u></p>
8	21	3市の取組み	<p>「容易にアクセスできる文化芸術情報・・・」は、市内の情報の意味でしょうか？世の中一般の話でしょうか？明示ください。市内の話ですと、ここで敢えてとりあげるのかなのかと思いますが。</p>	<p>情報の提供には、市内と近隣市町も含みます。</p> <p>次のとおり記述を修正します。</p> <p><u>「広域連携も想定した市内や近隣市町で鑑賞できるイベントの情報や、市内で活動する団体のプロフィール等を容易に一覧できる仕組みを作ります。」</u></p>
9	21	3市の取組み	<p>「・・・ターゲットを明確にした情報発信手段・・・」が意味不明です。多様な人々の参加ということと相反するよう見えます。</p>	<p>次のとおり記述を修正します。</p> <p><u>「SNSなどの活用、ネット環境に馴染みがない人には紙資料での提供など、さまざまな立場の人に届きやすい情報発信手段を充実することで多様な人々の参加のすそ野を広げます。」</u></p>

10	21	3市の取組み	<p>「未来を見据えて」という極めて曖昧で意味不明な表現を止めていただけませんか？ 役割分担が今、書けないのなら、この言葉がない方がすっきりします。</p>	<p>次のとおり記述を修正します。</p> <p><u>「市行政と市民と事業者がそれぞれの役割を果たすことにより、文化芸術活動を通じて地域やまちを元気にする活動につなげていきます。」</u></p>
11	27	3市の取組み	<p>2項目の「市全体の文化芸術活動の交流、情報発信の集約や連携の呼びかけを担うサロンや継続的・体系的に文化振興施策を推進できるよう、市民・実演者を含めた支援体制づくりに取り組めます。」は、個々の文節については賛同する部分が多く、協力したいという気持ちがあるのですが、日本語としてわかりやすい表現で説明していただきたいです。</p>	<p>次のとおり記述を修正します。</p> <p><u>「文化芸術活動に携わる人・団体の交流や連携を促進するサロンのような場を設けるなど、継続して活動が行えるよう市民・実演者を含めた支援体制づくりに取り組めます。」</u></p>

三田市文化芸術ビジョン(素案)を修正しないが参考とするもの				
12	全	ビジョン全体	<p>ビジョンは完成したら終わり、ではなく如何に具体化していくかが勝負です。具体化についての仕組みを明確に示してほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり、これからの取組みが大切となりますので、事業等の具現化に向けて今後、取組み内容等を明確にしていきます。</p>
13	全	ビジョン全体	<p>全体としては多数の有名な学識者や有識者によりコロナ禍とはいえ約2年間ご審議いただいた素案なのでその資料の抽出方法や纏め方については素晴らしいとの印象を受けた。ただ我々庶民は誰がいつまでにどのような事を具体化しどのようなメリットを市民が享受出来るのかが知りたいしそれしか関心がない。各論で市の取組みについて書かれているがすべて抽象的な表現ではないかと思える。この2年間の審議の途中でも良い提案があったはずでそれに基づき市としては何を具体化したのか、それが途上であっても例示して欲しい。</p>	<p>三田市文化ビジョン検討委員会では文化芸術の方向性について審議されました。委員のご意見のなかには文化遺産の電磁的データでの記録保存など、事業に対するご提案が何点かございましたので、「市の取組み」に記載しております。また検討委員会で出されたその他のご意見については、実現の可能性を探りながら事業化の参考としていきます。</p>
14	全	ビジョン全体	<p>市内合唱団の団員のひとりとして興味深く読ませていただきました。1970年代～2010年頃までは成長が続き活気があったものの、その後高齢化社会を迎えて行き詰まり感が出てきているという流れも理解できました。国内の多くの中規模都市が同じ課題に直面しているものと思います。どの自治体にも「決定打」と言えるものがないのでしょうか、今後の三田市の取組みの中か</p>	<p>ご意見のとおり、本ビジョンに沿って文化芸術施策を進めていく上で、参考とさせていただきます。三田らしい優れた文化芸術と言えるものが生まれれば、市民の誇りにもつながり、～日常に文化がある、まちづくり～がより進むと考えております。</p>

			らお手本となるような優れたものがひとつでも芽を出せば素晴らしいと思います。	
15	全	ビジョン全体	「市民や実践(演)者が自発的に文化芸術活動を行い、行政がそれを下支えする仕組みを基本とし…」 ⇒(質問)行政が下支えする具体的内容と具体的な仕組みを示してほしい。	文化芸術活動の主体はあくまで市民・実践(演)者であり、ここで言う「行政の下支え」とは、文化芸術活動を資金だけでなく、情報や場の提供など、さまざまな手法で支援する体制を表しています。
16	全	ビジョン全体	「三田市文化芸術ビジョンでは具体的な事業施策は表記せず(中略)基本的な考えを示しています。」 ⇒(質問)具体的な事業施策を決めていく仕組み、プロセスを示してほしい。	具体的な仕組み、プロセスについては、それぞれの事業関係者と連携しながら整理していきます。
17	全	ビジョン全体	今後10年のビジョン策定ですが、過去、現在、未来を明確にしてほしい。	過去については総論の「Ⅱ本市における文化芸術振興のあゆみ」の項で、現在は「Ⅳ三田市の文化芸術の現状と課題」で、未来は各論の「1委員会での議論を受けて-(2)目指す未来の姿」で、それぞれとりまとめ検証しております。
18	4 16	本ビジョンの位置づけ 3課題解決のために	担い手の高齢化、施設の老朽化、継承者不足等の課題があがっており、それを解決するために「市民一人一人が文化活動の担い手であるという当事者意識を高める必要がある。」とあるが、そうならば人の心が活動と共にあるような具体策がない限り当事者意識など高まらないと思う。「具体的な事業施策は表記せず」とあるが、事業になる前段階としての具体的な市民の心が動	本ビジョンは文化芸術を推進するための基本的な考え方を示すものです。ご指摘のとおり市民の意識を変えていただくためには仕掛けが必要と認識しております。市の支援事業だけでなく、活動する市民・団体からの提案も取り入れながら進めます。 今回ご提案いただいた取り組み例は、施策推進の参考とさせていただきます。

			<p>く仕組みづくりが必要になると思われる。文化芸術も三田市全域活性のためのまちづくりの一環であり、文化芸術活動が活性化されることで地域にも新たな魅力がつくられていくように10年先を見据え、着地点が想定された仕組みづくりを早急に作る必要があると思う。</p> <p>例えば…</p> <p>教育委員会と連携し、小中学校の部活動を文化活動とみなし活用する。(イベントオープニングを吹奏楽部に依頼、施設の看板づくりや再塗装を図工部・美術部に依頼するなど。) 様々な地域と連携し、情報交換や活動・発表の場を広げる。</p>	
19	9	文化芸術ビジョンが目指すものの象徴図	<p>「ともに」は、何を意味していますか? 「する」「みる」「ささえる」「つたえる」の間の繋がりを言っているのでしょうか? 市民みんな仲良くというような意味でしょうか? 官民一緒になってと言う意味でしょうか? 不自然に「ともに」と書かれることで、疑問が生じます。</p>	<p>「ともに」は、活動する人、鑑賞する人、活動を支える人・組織、伝える人・組織の4つの人・組織が協力し合って三田市の文化芸術活動を推進していくという意味で使用しています。</p>
20	10	「する」	<p>展示する側からの意見として、郷の音ホール展示室には、展示スペース不足、展示準備室の欠如、展示場照度不足が課題として挙げられます。また、市民センターの通路を活用した展示スペースは、照度不足、展示物との距離の不足、</p>	<p>利用者の展示内容により必要となる設備等も異なることから、すべての利用者の要望に応えることは困難です。</p> <p>それぞれの催しにあった設備等のご利用をお願い致します。</p>

			立体物展示が不可の問題などがあります。	
21	10	「みる」	ホールに関する情報と同様に、絵画等展示スペースに関する情報も概要を載せていただきたい。	郷の音ホールの展示室以外の公共施設の展示スペースについては施設毎に形状、規模、用途の取扱いが異なるため、一覧としては記載しておりません。
22	10 11	1「する」「みる」「ささえる」「つたえる」それぞれの現状と課題	この章は、特に美術分野に関し、現状の認識不足・議論不足が目立ちます。基本的には、作品展示のみならず作品の保存管理や美術教育といった側面も踏まえた上で、「三田市美術館」（あるいはデジタルミュージアムという節約型の提案）の創設を今後検討していく課題として挙げるべき思います。まずは検討が不足していると推察される以下の個別テーマに関し、ビジョン委員会で再度御議論いただきたいと思えます。○三田市における絵画・彫刻・工芸類の展示場・展示スペース、常設展示場の必要性、○「三田市歴史資料収蔵センター」収蔵物リストおよび収蔵物の管理状況、○重要美術作品・工芸品等の保存・管理状況・恒久施設の必要性、○三田市における学芸員の雇用状況市民啓蒙的な美術作品の「有料企画展示」が行われないことは、大きな課題として扱うべきと思えます。加えて三田駅近辺の開発に織込む形で、アートのまちさんだを象徴し、関西のアートを牽	現状において文化財の保存・管理は、適切に対応できていると考えております。 また、Ⅱ地域文化遺産の継承の3市の取り組みのなかでも記載しておりますとおり、デジタル化の推進は教育的視点からも有効ですので取り組みを進めていきます。 公開・活用については、更なる充実を進めていきます。 その他のご提案については今後の施策を推進する際の参考とさせていただきます。

			<p>引する先進的展示場を新たに設けることも、今後検討していくべきテーマと思います。</p> <p>現状のところ、正直に「現状の文化財の保存・管理・公開は、残念ながら不十分な状況である」と書くべきと思います。この反省無くしては、いつまでたっても、同じ事です。課題として、行政は、デジタル化の推進を強力に推し進めることによって、限られた予算の範囲内で、多くの文化財を整理し、保存し市民に公開するための努力を行っていきま、と書いていただきたいと思います。</p>	
23	10 ～ 11	課題	<p>文化施設の中には車がない高齢者や妊婦、幼い子連れが利用しづらい立地の施設がある。例えば福祉センターを通るバスは一日何本あるのか？数多くの素通りする回送バスを転用する等、使う・見る・支える多くの市民が使い安いような工夫を具体的に例示すべき。</p>	<p>様々な立場の方に文化芸術に触れていただく機会提供が必要であると考えております。市内施設へのアクセスが困難な方には SNS を活用して自宅で鑑賞できるなど別の手法等についても検討していきます。</p>
24	11	「ささえる」	<p>課題の最初の文章「主体的な活動に・・・お互いに支え合う・・・」の文章は、先端的であり時として異端的である芸術の芽を、集団合意の論理をもって摘むことのないような配慮が必要です。芸術は、全て異端とよばれるものから、始まっていることを、人は既に歴史から学んでいるはずで、記述に配慮をお願いします。</p>	<p>本ビジョンでは、文化芸術活動をあらゆる人が参加できる仕組みづくりを目指します。</p> <p>ともに支え合う体制を構築していく上で、ご指摘の「芸術の芽」が摘まれてしまうことがないよう施策を進めます。</p>

25	11	「ささえる」-課題	「する」「みる」「つたえる」に関する課題の記述については違和感がないのですが、「ささえる」の課題の冒頭に記載されている「主体的な活動に取り組む市民を増やし、お互いに支え合うことが大切です。」は、これが課題であるとするれば、具体的にどのような事実に基づくものでしょうか。	「ささえる」の取組みの一つとして市の支援事業がありますが、市民・団体同士が協力してささえ合う体制も必要です。アンケートで明らかになった、「主体的に取り組んでいる」人の割合が22.7%に留まっているという現状から、ともに“ささえる”体制づくりが課題と捉えています。
26	12	2 アンケート結果から見える文化芸術の課題	また、参加していない理由のアンケート(Q12-1)がされていますが、その逆の「参加している、または始めた理由」のアンケートもあればその結果が施策に直接結びついたかもしれません。例えば、参加していない理由には、ここには表われていない「これまで参加のきっかけがつかめなかった」というものがあるはずで、やりたいと思っても自発的に飛び込むには勇気が要ります。しかし大義名分(誘われて仕方なく/お得キャンペーンに乗せられて等)があれば一歩を踏み出せます。	ご指摘のとおり、アンケートでは「参加している・始めた理由」はお聞きしておりません。ご提案の一步踏み出すための取組みについても参考とさせていただきます。
27	12 28	2 アンケート結果から見える文化芸術の課題 1 委員会での議論を受けて-2 アンケートから	(1)P12 および P28 のアンケート結果(文化活動に参加していない理由) このあたりに活性化施策のヒントがあるはずなのでもう少し深掘りが必要かと思いました。忙しく時間がない世代は置いておき、60歳代以上でも7~8割が参加していないことに着目すべ	ご指摘のとおり、豊富な経験・知識をお持ちのシニア世代が参加しやすい仕組みについては、文化芸術施策を推進する上で必要と認識しております。アンケートでは「どのような活動があるか知らない」という回答が28%と高くなっていることから、シニア世代

			<p>きではないでしょうか。まだまだ元気なシニア、文化活動に参加することで元気になるシニアが大勢いるはずです。</p> <p>理由のひとつ「活動を知らない」への対策として「情報共有のしくみ構築」があげられていますが、一般的に有効なのは団体のHP(ホームページ)でしょう。ただしHP作成には知識・技術が必要であり、これをつくれる団体は限られています。ここに市の支援(環境準備や講座など)ができないでしょうか。</p> <p>ひとつの提案ですが、秋の文化祭(郷の音、フラワーなど)を発表の場と同時に勧誘の場と明確に位置付けてはどうでしょうか。各団体のブースを設ける、体験コーナーをつくるなどして。大学サークルの新入生勧誘のイメージ。そして10~12月を「活動参加キャンペーン期間」として、団体への入会費または初回月会費を3000円限度で補助するなど。これを毎年続けて、気がつけばシニアの60%以上が何らかのコミュニティに属している、などとなれば全国に誇れます。</p>	<p>にも届きやすい情報発信の方法等は、今後検討します。</p> <p>技術・知識不足の理由からホームページの作成に不安を感じておられる団体等を対象に、ノウハウを学べる講座の開催を検討したいと考えています。</p> <p>また、ホームページは自発的に閲覧される人向けの情報ツールですので、SNSやメールマガジン等の実施主体側から情報発信する手法も検討いたします。</p> <p>団体等への加入を促す勧誘の取組みは、世代に関わらず文化芸術活動に参加する人数を増やす手段の一つとして有効だと思われるので、施策を推進する上で参考とさせていただきます。</p>
28	16 21	4 三田らしさをいかすために 3市の取組み	<p>全国1700市町村のうち、政令都市+α以外は、すべて田園都市です。さらに、城下町は全国いたるところに例外なく存在する。三田市は残存する城下町でしょうか、遺跡保存を</p>	<p>三田市は都市と農村が融合した緑豊かな里山文化が薫る街です。阪神地域においての城下町は三田市と尼崎市のみです。時代の流れのなかで城跡は学校になり、武家屋敷や</p>

			しておりますか？	町家の多くは建て替わりましたが、旧九鬼家住宅をはじめ三田地区の古い商家や寺町界隈の町割に今なお名残をとどめています。現在は、まち歩きのコースとして活用し、市民の皆さんに親しんでいただいております。
29	19	第2部各論全体	「委員会での議論を受けて」のところに、「さんだの特色」と「目指す未来の姿」が書かれていますが、やはり現状認識をきっちり書かれた方がいいのではないですか？全ての「目指す未来の姿」の項目の否定文が現状なのかなと思ってしまいます。	現状と課題については、一括して総論のIVで提示しております。
30	19	1 委員会での議論を受けて-(2) 目指す未来の姿	「文化芸術振興に専門的かつ継続的に関わる支援体制」に関連して、市はどういう取り組みをなさるのか、明示していただきたい。	支援体制に関しては、専門的人材の育成また外部人材の活用、その他様々な手法が考えられますが、ここでは理想とする未来の姿として記載しています。
31	21	3 市の取り組み	市行政と市民や事業者が果たすべきそれぞれの役割とは何で誰がいつまでにどのように見直すのか	ともに「する・みる・ささえる・つたえる」取り組みを進める上で、行政の役割は活動への支援が中心となります。 市民や事業者は、文化芸術活動を楽しみながら、活動の状況に応じて、それぞれの立場で出来ることから取り組んでいただきたいと考えています。よって具体的時期を明示するものではないと考えています。
32	21	3 市の取り組み	「未来を見据えて市行政と市民や事業者が果たすべきそれぞれの役割を見直します。」	本ビジョンは、現状の課題を明らかにするなかで目指すべき未来の姿に向けた市の主

			<p>について。P. 4で、本ビジョンは第5次三田市総合計画に基づく、とありますが、同計画素案では、市民、事業者、市のそれぞれの取り組みが検討されており、一方で本ビジョンのP. 19以降の各論では市の取り組みのみ記述され、市民、事業者・団体についての考察が不足していると感じます。市、市民、事業者のそれぞれの役割について、本ビジョンの中で提示すべきではないでしょうか。</p>	<p>な取り組みについて記載したものであり、市民や事業者の具体的事項については記載したものではありません。</p> <p>文化芸術活動は“ともに「する・みる・ささえる・つたえる」”4つの立場の市民や団体等の実践者が自発的に行う活動で成り立っています。</p> <p>取組を進める上で、行政の役割は、総論でお示ししているとおおり、市民が自発的に行う文化芸術活動を下支えすることが中心となります。</p> <p>市民、事業者の役割は、それぞれが協力し合い活動する中で見直していくものであり、文化芸術活動を楽しみながら、状況に応じて、できることから取り組んでいただけるよう進めていきたいと考えています。</p>
33	22	Ⅱ文化遺産の継承	<p>文化芸術遺産の基準（世界、日本、関西、兵庫および三田圏内市民レベル）を明確にしてほしい。歴史遺産も含めて、如何に捉えたらいいのか？わかりにくい。</p>	<p>本ビジョンでいう文化遺産は市内に現存する文化財や伝統文化を指しています。</p>
34	22	Ⅱ文化遺産の継承	<p>私見では、一次産業はなく、歴史的遺産もなく、三田焼ぐらいかなと思いますが、いかがでしょうか？これ積極的に保存していますか？</p>	<p>三田市には守り伝えられてきた歴史遺産として、国・県・市指定の文化財107件、登録文化財4件があります。三田焼につきましても、市の所蔵品を市立図書館や三輪明神窯史跡園などで展示公開しています。</p>
35	22	1委員会での議論を受けて	<p>「委員会での議論を踏まえて」を読む限りにおいて、委員</p>	<p>ご指摘の文化財の保存・管理・公開等についても検討委</p>

			<p>会では文化財の保存・管理・公開について十分な議論がなされていないと推察されます。文化芸術ビジョンを論ずるのに、非常に大切なところですので、是非、再度御議論いただきたいと思ひます。</p>	<p>員会で議論をしてきたところです。その中での意見等を踏まえ未来の姿や市の取り組みにおいて、文化遺産への触れる機会や情報発信、また記録の電磁データ化など記載しているところです。</p>
36	22	1 委員会での議論を受けて-(2) 目指す未来の姿	<p>仮称“伝統芸能祭”を「市民文化祭」の一環として位置づけ、継続開催により伝統文化に触れる機会を創出し継承発展に寄与する。</p>	<p>ご提案いただいた伝統芸能に特化した機会の創出は市民の意識啓発に有効と思われるので、施策推進の参考とさせていただきます。</p>
37	22	1 委員会での議論を受けて-(2) 目指す未来の姿	<p>伝統芸能に関わる実践者及び参加希望の市民が出演する、仮称“さんだ和風オペラ”を毎年定期開催する。このことは、かつて行われてきた“市民演劇”の良き系譜を活かしつつ、田辺真人先生の“三田という地域の歴史的文化の特色に対応できる個性を育てていく”(市文化協会への50周年寄稿文より)に繋がり、“三田らしさ”の総合的舞台芸術を創り上げることになる。具体例として、仮称「花山院物語」の公演を通じて、本格的舞台衣装のもと、歌唱・伝統楽器の生演奏やシンセサイザーなど多面的な音楽の活用、多彩な照明技術を駆使した新たな三田の芸術文化公演を立ち上げる。</p>	<p>郷の音ホールで実施する今後の公演事業の参考とさせていただきます。</p>
38	22	1 委員会での議論を受けて-(2) 目指す未来の姿	<p>文化財の保存・管理・公開に関し、先輩達の残してくれた貴重な文化財を市民が共有できる形とし、決して埋没・散逸させない、という項目を加え</p>	<p>文化遺産について共有・活用していくという未来像を「(2) 目指す未来の姿」で示しています。</p>

			ていただきたい。	
39	24	3市の取組み	<p>市の取組みの2項目目「これまでの文化財保護の枠組みにとらわれず」の文章の意図するところが読み取れません。これまでの文化財保護は不十分であったと書くべきかと思いますがどうでしょうか？あらたに作られる「仕組み」というのが、活用、学び、継承に関する事ばかりでなく、文化財の保存・管理に直接関わるものであることを明記下さい。</p>	<p>現状において文化財の保存・管理は、適切に対応できていると考えております。</p> <p>これまでの行政は文化財保護が中心となっておりましたが、今後は更に文化遺産の利活用を進める意図で記載しております。</p>
40	25	Ⅲ文化活動支援のあり方	<p>市の支援制度は50年前市が文化活動を振興の為、文化協会を設立し、市と文化協会協力のもと市民の生活活力の助けとして文化活動に参加できる支援を行い発展、50周年を迎えた。その間、郷の音総合文化センターも建設され活動の意欲を頂いた。文化協会も独立させられ市の協力も薄れ今年から文化祭の発表が郷の音の手で実施された。初めての事で今回は概ね以前の文化協会で行ってきた通り、予算も以前通りの金を郷の音に渡され問題なく、実施出来たと思います。しかし今後は今の市の文化協会に対する支援では益々の高齢化、並びに郷の音が市に変わって支援頂くのは敷居が高いのとで、登録団体も段々と減ってくると思われま。文化協会の市民団体への支援も出来ないと思いま</p>	<p>文化協会の今後のあり方についてのお考えかと存じますが、現在のところ財団設立は予定していません。</p> <p>なお、発展的で持続可能な文化活動のあり方について、様々なご意見や他市の事例も含め研究していきます。</p>

			<p>す。そこで考えるのは、他市の様に三田も郷の音が文化財団方式に成りその下に文化協会があり、金額的な補助により協力、そこに今の加入団体、新たな加入団体を拡張支援の努力し市民文化を繁栄させなければ衰退は目に見えています。郷の音自身は鑑賞の業務が主と思います。</p>	
41	25	1 委員会での議論を受けて-(目指す未来の姿)	<p>「市の支援制度は、多様な担い手やニーズを視野に入れて体系化されており、活動の公益性や自立度に応じた活用がなされています。」については趣旨は理解しますが、特に公益性については客観的にどう評価できるかが課題と考えます。何らかの評価を行った上で運用することを想定していると推察しますが、評価方法が納得いく形で定着するには時間がかかると予想されます。評価方法についての検討をしっかりと行い、十分な期間を確保して試行運用する必要があると考えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、公益性を見据え、公平な評価が行えるよう慎重に方法を検討します。</p>
42	27	3 市の取組み	<p>これまでの団体補助等を見直し、多様な団体・個人への支援へ転換するとの事ですがその審査は誰がどのような基準で行うのか？利権や付度・私情が入り込むリスクを回避出来るのか？</p>	<p>今後の団体補助等については、特定の団体を対象とするのではなく、幅広く支援できる体制を考えています。審査方法や支援体制を含め検討を進めます。</p>
43	29 32	3 市の取組み	<p>高齢化社会が進む現実に対する視点がさらに必要ではないか？特に郷の音ホールは収益性の高いイベントを優先す</p>	<p>高齢化社会に対する視点については、各論のIV(地域文化における共生)にある「さまざまな立場」に高齢者が含まれ</p>

			<p>るのは致し方ないが例えば登録団体であれば1ヶ月前で開いている施設は利用料を加減するなどもっと利用を促す等の活性化策の例示をして欲しい。</p>	<p>ております。ご提案の活性化策は施設利用促進にあたっての参考とさせていただきます。</p>
44	30 ～ 32	V郷の音ホールの役割	<p>施設・設備の補修については必要なのであれば実施するしかありません。ただし利用状況からすると税金を使うことへの理解が得られるかの懸念があると考えられますので、単なる補修ではなく「使いやすくするため」「行きたくなるようにするため」の改善をセットとする必要があるでしょう。</p>	<p>ご指摘のとおり、施設を持続的に維持運営していくためには、施設・設備の修繕は必要です。使用頻度等も勘案しながら、そのうえで経費を抑え効率的な改善に努めていきます。</p>
45	30 ～ 32	V郷の音ホールの役割	<p>現状の問題点については老朽化以外の記載がありませんが、アクセス性の問題(駅から遠い)はよく耳にします。三田駅との往復シャトルバス運行を実現できないでしょうか。</p>	<p>ご要望のシャトルバスの運行については、運営等にあたっての課題もあり難しいところですが、イベントの規模等やイベント実施者の意見、他市の事例を参考に今後研究していきます。</p>
46	34	三田の文化芸術の未来に向けて	<p>伝統芸能をはじめ多くの文化活動団体の相互交流と情報交換を有機的な“サロン”化するため、事務所機能の集約化・一元化を目的に仮称「市文化交流センター」を開設し、ハード面における所要の公的支援を行う。</p>	<p>ご提案内容は、本ビジョンの取組みの一つである交流サロン(仮称)の創設に向け進める際の参考とさせていただきます。</p>
47	34	三田の文化芸術の未来に向けて	<p>ビジョンに沿った事業企画を立案・実施するためには、行政及び文化団体(実践者)が「定期協議」したうえで、事業の予算化を行う必要がある。</p>	<p>事業実施にあたっては行政が各団体等と協力しながら取組みを進めているところです。今後も各団体との連携に努めながら文化芸術事業の推進に取り組んでいきます。</p>

48	34	三田の文化芸術の未来に向けて -(2) 文化遺産の継承	10年後の三田を考えた場合、電磁化で全てが済むということはありません、文化財の保存・管理には、やはり何らかの物理的キャパシティーをもった施設が必要です。また、そのためには学芸員を雇用しきちんと組織化する必要があるのではないのでしょうか。そしてその部分こそ強力な公共関与が必要になるのではないのでしょうか。こういった点に関しての考察を、この文化芸術ビジョンに是非織込んでいただきたいと思います。	現在、市が所蔵する文化財は、市立図書館での展示や、ふるさと学習館等での資料公開を行っています。新たな公開の場については、既存の公共施設の有効活用も含め検討します。 文化遺産継承の公共関与については、専門的人材の育成また外部人材の活用、その他様々な手法について検討が必要となるため具体的な手法については記載していません。
49	34	三田の文化芸術の未来に向けて -(2) 文化遺産の継承	文化財の電磁データによる保存・継承が強調されています。それ自体には異存がありませんが、例えば、現時点で管理が十分でないと推察される「三田市歴史資料収蔵センター」収蔵物をどうするのか、あるいは今後も継続的に発生してくる貴重な芸術作品の散逸を黙認せず、市民の共有財産とすべきではないかという議論は残ると思われま。	文化財が市民の共有財産であることは認識しております。ご意見として伺います。
50	34	三田の文化芸術の未来に向けて -(3) 文化活動支援のあり方	この変更が実態としてどのような運用になり機能するのか、その結果がどうなるのか、正直見えません。しかし、システムがどうあれ、非常に大雑把にいうと、成果は支援総額に比例する部分が多いということもできます。10年後を目指し、文化活動に関わる支援総額をどうしていくべきなのかという議論は、このビジョ	この項目が意図する支援とは、補助金の交付だけでなく、情報提供、活動の場の利用促進等多様な手法を指します。具体的な支援の方法は対象により異なりますので、年度毎に検討を進めます。 よって、10年後の総額について今回のビジョンへの記載は考えておりません。

			ンに書いていただけるのでしょうか？是非、明示していただきたいと思います。	
51	－	その他	全ての「三田市文化ビジョン検討委員会」の資料を探して確認しましたが、公表されていない第2回の資料が見当たりませんでした（議事録はありましたが）。全検討会の資料を整理して公表してほしいと思います。	ホームページを更新いたしました。ご確認をお願いします。